



古中だより「坂道」

<めざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和3年度 第20号

11月12日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 上野 康生

～ 研究公開を開催しました ～

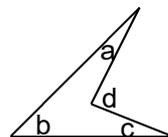
11月9日(火)、本校において研究公開を開催しました。これは、本校が令和3年度から令和5年度まで「ふくしま『未来の教室』授業充実事業」の研究指定校に選定されていることを受けての研究公開となります。この事業では、GIGAスクール構想によって整備された「一人一台端末(タブレット)」を効果的に活用したり、AI(人工知能)ドリルを用いたりすることで、生徒一人一人の学びの充実を図り、デジタル化社会を生きる生徒の学力やデジタル機器の活用力を高めることを目的としています。例年実施している古殿町園小中学校連携授業研究会を兼ねて実施しましたので、当日は福島県教育庁の指導主事の皆様、古殿町教育委員会の皆様、石川地区中学校の教員の皆様、ふるどのこども園や古殿小学校の皆様、そして本校教員の総勢約35名が参加し、授業参観や研究協議などが行われました。

さて、研究公開では以下の2つの授業を公開しました。

○ 1年2組 理科 「力の世界」 授業者：沼田 長朗 教諭

○ 2年1組 数学科 「平行と合同」 授業者：齋藤 守 教諭

理科の授業では、「物体に力がはたらくとどんなことが起こるだろうか」という問いかけに始まり、様々な映像や生徒たちの実体験などをもとに、生徒同士が様々な議論をしながら力のはたらきを科学的に整理することができました。数学の授業では右の図のような凹んだ形の四角形の4つの角a、b、c、dの関係($\angle a + \angle b + \angle c = \angle d$)を予想し、それが正しいことをこれまでに学習したことからを用いて、様々な方法かつ相手にとって分かりやすくする工夫をしながら説明しました。



両方の授業における大切なポイントは、**自分なりの考えをもったり、考え方を分類・整理したり、自分の考えと他の生徒の考えを交流させ、新たな気づきを生んだりすること**です。

これらの活動の多くはノートやワークシート、黒板、発表用の小さなホワイトボードなどを使って行われることが一般的でしたが、時間がかかることが大きな課題の一つでした。その課題を解決してくれるのが、タブレットなのです。今回はタブレットのアプリの付箋紙機能を用いて、上に書いたような活動を行いました。生徒はこれまでの授業でタブレットの使用にも慣れてきているので、スムーズに学習できました。そして、自分や友人がタブレット上で書いたものはタブレットの中に保存されるので、好きな時にタブレットを開いて復習したり書き加えたりすることができるのです。

このように便利なタブレットですが、**タブレットは文房具と同じように学習の手段であって、使うことが目的ではありません**。これまでのように、ノートなどに自分の考えや解き方を書いたり、教科書をしっかりと読んだりする活動はとても大切な学習活動です。学校としましても、**タブレットの効果的な活用場面や活用方法を今後もさらに研究し、生徒にとって分かりやすい授業、魅力ある授業を提供することで生徒の学力を高められるよう努力して参ります**。

<理科の授業の様子>

<数学の授業の様子>



～ 自分の考えを堂々と発表！ ～

11月11日(木)、石川中学校において石川地区中学校弁論大会が行われました。本校からは、玲瓏祭の意見文発表会において最優秀賞を受賞した佐藤美優さん(3年)が代表として出場しました。「動物の命の重さ」という演題のもと、人間の身勝手な理由から動物を捨てることで残酷な殺処分が行われていること、人間の命も動物の命も重さに変わりはないことなどを熱意をもって訴え、奨励賞を受賞しました。

私も自宅に野良犬として迷い込んだ犬を小学校1年から大学3年まで15年間ほど飼いました。老衰で安らかな最期を迎えるまで家族の一員として共に過ごした愛犬のことを今でも忘れることはありません。

ペットを飼う家庭が増えている昨今、改めて「動物の命」について真剣に考えるきっかけを与えてくれた美優さん、本当にありがとうございました。



～ 三者面談、お世話になりました ～

先月29日からの延べ6日間、三者面談にご協力いただきありがとうございました。3年生は進路に関する話題がほとんどだったとは思いますが、どの学年でも**お子さんの生活習慣や学習習慣**について、良い点や課題点について話し合いが行われたことと思います。学校と家庭が**共通理解のもと連携しながら、良い点はどんどん伸ばし、課題点については改善を図っていく**ことが大切だと思っております。今後もお悩みのことなどがあれば、気軽に学級担任等に御相談ください。

なお、進路については3年生になってから考えるのではなく、**1、2年生のうちから考える**ことが大切です。そして、どの高校に進学するのかを考えるだけでなく、「**何のためにその高校に行くのか**」、「**高校に進学したら何を頑張りたいのか**」といった**目的意識**がはっきりしている生徒ほど、学習にも**意欲的になる傾向**があることは間違いありません。ぜひ、ご家庭でも話題にしていれば幸いです。

